

展覧会・公演等、開催時の対策チェックシート

鶴岡アートフォーラムでは、感染症対策としてリスク評価を行ったうえで、ご利用いただいております。当施設のご利用に当たっては、以下の感染症対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、対策方法や感染拡大状況によって、感染リスクが残る場合には、対策の強化や自粛を求めることがあります。ご記入いただき、使用申請書とともにご提出ください。ご協力よろしくお願いいたします。

使用目的・名称 _____

使用場所 _____

使用日時 _____

以下、感染症対策 1～4 をご確認のうえ、実施する対応策に✓を付けてください。※印は必須項目です。

1. 接触感染のリスク評価

対象	対応策	必須	実施
主催者 関係者 利用者	不必要な接触を避ける	※	
	利用前後に手洗いや手指消毒を行う	※	
	ゴミを廃棄する際には、マスクと手袋を着用し、処理後、手洗いをを行う	※	
利用場所 (控室を含む)	触れた場所と物を利用後に消毒する	※	
入場者	手に取るものを展示しない	※	
受付・物販	手指消毒用アルコールを設置する	※	
	手や共有するものを、こまめに消毒する	※	
その他対応策	()		

出演者や講師、ゲスト等がいる場合は以下も✓

出演者	観客と接触しない	※	
	出演者同士の接触を避ける		
その他対応策	()		

2へ続きます。

2. 飛沫感染のリスク評価

対象	対応策	必須	実施
主催者 関係者 利用者	対面を避け、マスクやフェイスシールドを着用する	※	
	大声や近接での会話を避ける	※	
	対面や密集しての飲食は避ける	※	
利用場所 (控室を含む)	十分な間隔をとる	※	
	湿度を 50～60%で管理し、1 時間に 1～2 回程度換気する (ギャラリーとフォーラムでは、空気調和設備により集中管理をしています。 諸室については常時換気のスイッチを入れていただき、CO2 濃度が 1,000ppm を超える場合は、窓や扉を開放し、換気してください。加湿器も貸し出し ます)	※	
入場者	マスク着用、咳エチケットを周知する(マスクを持参していない者へは主催者 側で準備。アートフォーラムの受付でも 1 枚 50 円で販売しています)	※	
	大きな声や近接での会話を避けるよう案内する	※	
	個人やグループの間では、十分な間隔をとる	※	
受付・物販	マスクやフェイスシールドを着用、または飛沫防護シールドを設置する	※	
その他対応策	()		

出演者や講師、ゲスト等がいる場合は以下も✓

出演者	観客と十分な間隔(2m 以上)をとる	※	
	発声や管楽器の演奏については慎重に対策を行う	※	
	マスクやフェイスシールドを着用する		
	観客との間に仕切りを設ける		
	拡声器を使う		
その他対応策	()		

3へ続きます。

3. 集客施設としてのリスク評価

対象	対応策	必須	実施
主催者 関係者 利用者	37.5 度以上の熱や風邪等の感冒症状がある人は参加させない	※	
	陽性者や濃厚接触者は参加させない	※	
	体温の計測等、健康管理を行う	※	
	運営は必要最低限の人数で行う		
利用場所 (控室を含む)	制限人数以下で利用する（主催者や関係者等の全利用者と入場者の合計） 会議室 1：6 人 会議室 2：12 人 大会議室：40 人 アトリエ：35 人 フォーラム：80 人 ギャラリー1A：20 人 ギャラリー1B：30 人 ギャラリー1C：30 人 ギャラリー2A：50 人 ギャラリー2B：40 人	※	
	入場者に大声での歓声や発声が想定される利用の場合は、制限人数の半数以下で利用する（主催者や関係者等の全利用者と入場者の合計）	※	
	トイレが混雑する際には、十分な間隔をとって整列するよう誘導する		
入場者	制限人数を超える際は入場人数の制限を行い、滞留しないように誘導する	※	
	入場時、非接触型体温計で検温する	※	
	予約制や時間制、招待制とする		
受付・物販	受付・物販・待機場所でも十分な間隔をとる	※	
その他対応策	()		

出演者や講師、ゲスト等がいる場合は以下も✓

出演者	出演前後も含めて、感染症対策を慎重に行う	※	
	入待ちや出待ちなどへの対応は行わない		
その他対応策	()		

フォーラム（交流広場）利用の場合は以下も✓

利用場所 (控室を含む)	トイレが混雑する際には、十分な間隔をとって整列するよう誘導し、余裕のある休憩時間を設定する	※	
入場者	入待ちや出待ちは控えさせる		
その他対応策	()		

4へ続きます。

4. 地域における感染状況のリスク評価

対象	対応策	必須	実施
主催者 関係者 利用者 受付・物販	感染拡大している国や地域からの参加は控えさせる	※	
	国や県で、感染症に対して非常事態にある時は、利用を自粛する	※	
入場者	参加者の居住地を限定する		
その他対応策	()		

出演者や講師、ゲスト等がいる場合は以下も✓

出演者	滞在前や滞在中は感染リスクの高い行動を控える	※	
	感染リスクの高い飲食店での外食は控える	※	
その他対応策	()		

以上の対応策を講じたうえで利用します。
また、感染者が出た場合には、情報提供等、協力します。

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

団体名 _____

代表者名 _____

連絡先 Tel. _____ - _____ - _____

担当者 _____

受 付 印
